

村を伝える写真展

岐阜県岐阜市の市民団体「手と手」(丹原美穂代表)が、村への支援継続を呼びかける写真展を開きました。3月1日からは岐阜駅のターミナルビル「アクティブG」、18日からは岐阜県立図書館を会場に、村が提供した震災前の風景写真や、丹原さんらが撮影した震災後の写真など64点を展示。21日には菅野村長の講演会が開かれた他、交流を続けてきた村民も会場を訪れ支援への感謝を伝えました。



▲震災前の村の歩みとまでいな暮らしも紹介されました

◀村長の講演に先立ち村への思いを語る丹原さん



避難先で警察署が励ましのイベント

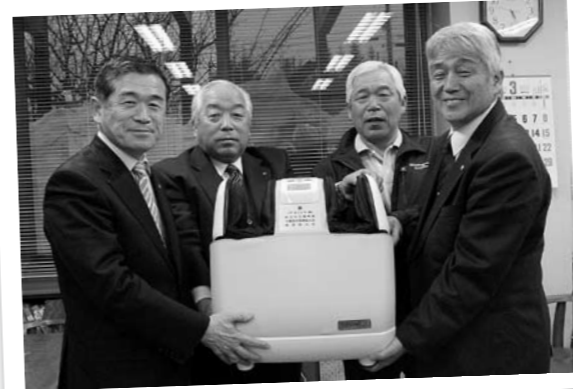
伊達警察署が伊達東公民館で東日本大震災復興支援事業としてイベントを開催し、伊達東応急仮設住宅や管内借り上げ住宅の住民が招かれました。会場には震災後の取り組みを紹介する写真や救助装備車などが展示され、訪れた稲川隆署長をはじめ約20人の警察官が住民と交流。県警音楽隊(佐藤公三隊長)に所属する白岩仁楽長ら7人によるミニコンサートも開かれました。



▲音楽隊の演奏に合わせて唱歌や歌謡曲を歌いました

いいたてホームへの贈り物

「相双法人会飯館支部」から「いいたてホーム」に、足のマッサージを行う「フットマッサージャー」5台が贈られました。千葉県「木更津法人会」からの支援を活用した贈り物です。三瓶政美施設長は「疲れをためている職員にまず試してもらい、入所者にも使ってもらえるようにしたい」と話しました。



▲寄贈に訪れた高橋英明支部長(左から2番目)と菅野一廣幹事(左から3番目)

また13日には、南相馬市にある県立テクノアカデミー浜から、建築科の2年生5人が製作した木製の本棚や花台、カラオケ台などが贈られました。県が提供した県産材を使い、施設と打ち合わせを重ねて製作されたもので、木の温もりが活かされています。迎えた入所者が笑顔で感謝を伝えていました。

学生さんとキッチン台を設置しスタッフ(写真右)も笑顔▶



世代を変えて話そう「かすかだりの会」



▲立場や状況の違いを超えて率直な思いが語られました

30から40歳代の村民を中心に、避難後の対話の場を作ろうと活動をしている「かすかだりの会」(酒井政秋会長・小宮)が、広い世代に呼びかけ飯野学習センターで対話の会を開きました。会の冒頭には、「自分の中にしまいこまないで」というメッセージを込めて「へっぴり嫁」の寸劇を上演。ほぐれた雰囲気の中でそれぞれの思いを聞き合い、小グループでも語り合うなどして対話を深めていました。

3月の主なできごとと村の動き

- 1日・「いつとき帰宅バス」運行再開
- 2日・春季火災予防運動 防火訪問(松川第一応急仮設住宅)
- 3日・春季火災予防運動 防火訪問(松川第二応急仮設住宅)
- 4日・いいたてまでいな復興計画推進委員会 答申(飯野出張所)
- 5日・19日・村議会3月定例会(飯野出張所)
- 6日・「いいたてほっと安心寄っトイレ」開所式(村内・Aコープ敷地内)
- 7日・仮設住宅・公的宿舍住民懇談会(国見上野台応急仮設住宅集会所)
- 8日・むし歯ゼロの子表彰式(飯野学習センター)
- 9日・仮設住宅・公的宿舍住民懇談会(伊達東公民館ホール)
- 10日・村議会第25回東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興対策特別委員会(飯野出張所)
- 11日・刈り払い機講習会(村内・ビレッジハウス)
- 12日・飯館中学校 卒業式(飯館中学校体育館)
- 13日・第5回子育て支援プレ事業「いいたて子育てひろば」(南相馬市・ひがし生涯学習センター)
- 14日・第6回子育て支援プレ事業「いいたて子育てひろば」(福島市保健福祉センター)
- 15日・企業支援奨励金交付式(飯野出張所)
- 16日・草野・飯館幼稚園 修了式(草野・飯館幼稚園)
- 17日・村議会第26回東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興対策特別委員会(飯野出張所)
- 18日・行政区ワークショップ全体報告会(県青少年会館)
- 19日・草野・飯館・白石小学校 卒業式(草野・飯館・白石小学校体育館)
- 20日・第3回農業委員会定例会(飯野出張所)
- 21日・村と飯館村商工会の定例打ち合わせ(飯野出張所)
- 22日・「飯館村を支援する集い」(東京都千代田区・学士会館)
- 23日・木幡常治さん(小宮)百歳賀寿(福島市・竹林亭)
- 24日・いいたて農地水環境保全向上対策推進連絡協議会総会(飯野出張所)
- 25日・八木沢トンネル(仮称)起工式(県道原町川俣線八木沢トンネル南相馬市側入口付近)
- 26日・転出教職員合同離任式(飯野出張所)
- 27日・村介護保険運営協議会(飯野出張所)
- 村地域包括支援センター運営協議会(飯野出張所)